

# 露地ズッキーニ防除暦

	防除時期	防除薬剤	水 100ℓ当 使用量	倍率	10a 当り 散布量	使用時期 又は 収穫前日数 (使用方法)	使用回数	対象病害虫
1	5/上旬 定植時	スタークル粒剤		2g/株		定植時 (植穴土壌混和)	1回	アブラムシ類、 コナジラミ類
2	5月 下旬	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		150ℓ	前日まで	2回以内	アブラムシ類、 うどんこ病
		ウララ DF	50 g	2,000 倍				
3	6月 上旬	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		200ℓ	前日まで	2回以内	アブラムシ類、 うどんこ病
		アルバリン顆粒水溶剤	50g	2,000 倍				
4	6月 中旬	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		300ℓ	前日まで	2回以内	アブラムシ類 うどんこ病
		チェス顆粒水和剤	20g	5,000 倍				
5	6/下~ 7/上	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		300ℓ	前日まで	3回以内	ハモグリバエ類 軟腐病、斑点細菌病 黒腐病、褐斑細菌病
		プレバソフロアブル 5	100 ml	1,000 倍				
6	7月 中旬	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		300ℓ	前日まで	2回以内	アブラムシ類 べと病
		ウララ DF	50g	2,000 倍				
7	7月 下旬	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		300ℓ	前日まで	2回以内	アブラムシ類 うどんこ病
		アルバリン顆粒水溶剤	50g	2,000 倍				
8	8月 上旬	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml		300ℓ	—	—	軟腐病、斑点細菌病 黒腐病、褐斑細菌病
		コサイド 3000	50g	2,000 倍				

混用順序 : 展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 顆粒水溶剤 → 水溶剤 → フロアブル → ドライフロアブル(DF) → 顆粒水和剤(WDG) → 水和剤

目的	農薬名	倍率(水 1ℓ当たりの使用量)	使用時期	使用回数
着果促進	トマトーン	50倍 (20ml)	開花当日	花に1回

※トマトーンを使用する場合は、倍率を守り使用してください。

※アディオン乳剤の使用時期は収穫7日前のため散布時にあたっては注意する。

※ネキリムシ類の被害が心配される場合は、生育初期収穫開始7日前に「ガードベイトA」を10a当たり3kg株元散布する。

※樹勢が弱い場合は、農薬散布時にアミノメリット特青500倍またはハイプログリーン500倍を加用する。

※軟腐細菌病(果実の腐れ)の発生が多い場合は、「コサイド3000」に代えて

「スターナ水和剤」(1000倍・収穫前日・3回以内)を散布する。

※ダニが発生した場合は、「サフオイル乳剤」(300倍・収穫前日)を散布する。サフオイルは、うどんこ病、コナジラミ類、ハダニ類にも効果がある。

※うどんこ病が多く発生した場合は、「トップジンM水和剤」(1,500倍・収穫前日・3回以内)を散布する。

※べと病が発生した場合は、「ランマンフロアブル」(1000倍・収穫前日・4回以内)を散布する。

# ハウスズッキーニ防除暦

	防除時期	防除薬剤	水 100ℓ 当 使用量	倍率	10a 当り 散布量	使用時期 又は 収穫前日数 (使用方法)	使用回数	対象病害虫
1	4/中旬 定植時	スタークル粒剤		2 g/株		定植時 (植穴土壌混和)	1 回	アブラムシ類、コナジラミ類
2	5 月上旬	展着剤 (ハイトンパワー) ウララ DF ダコニール 1000	10 ml 50 g 100 ml	2,000 倍 1,000 倍	150ℓ	前日まで 前日まで	2 回以内 3 回以内	アブラムシ類、 うどんこ病
3	5 月中旬	展着剤 (ハイトンパワー) アルバリン顆粒水溶剤 トップジンM水和剤	10 ml 50g 66g	2,000 倍 1,500 倍	200ℓ	前日まで 前日まで	2 回以内 3 回以内	アブラムシ類 うどんこ病
4	5 月下旬	展着剤 (ハイトンパワー) チェス顆粒水和剤 ダコニール 1000	10 ml 20g 100 ml	5,000 倍 1,000 倍	300ℓ	前日まで 前日まで	2 回以内 3 回以内	アブラムシ類 うどんこ病
5	6/上~ 6/中	展着剤 (ハイトンパワー) ウララ DF コサイド 3000	10 ml 50g 50g	2,000 倍 2,000 倍	300ℓ	前日まで —	2 回以内 —	アブラムシ類 軟腐病、斑点細菌病 黒腐病、褐斑細菌病
6	6 月下旬	展着剤 (ハイトンパワー) アルバリン顆粒水溶剤 ランマンフロアブル	10 ml 50g 100 ml	2,000 倍 1,000 倍	300ℓ	前日まで 前日まで	2 回以内 4 回以内	アブラムシ類 べと病
7	7 月上旬	展着剤 (ハイトンパワー) プレバソンフロアブル 5 トップジンM水和剤	10 ml 100 ml 66g	1,000 倍 1,500 倍	300ℓ	前日まで 前日まで	3 回以内 3 回以内	ハモグリバエ類 うどんこ病
8	7 月中旬	展着剤 (ハイトンパワー) コサイド 3000	10 ml 50g	2,000 倍	300ℓ	—	—	軟腐病、斑点細菌病 黒腐病、褐斑細菌病

混用順序 : 展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 顆粒水溶剤 → 水溶剤 → フロアブル → ドライフロアブル(DF) → 顆粒水和剤(WDG) → 水和剤

目的	農薬名	倍率(水 1ℓ 当たりの使用量)	使用時期	使用回数
着果促進	トマトトーン	50 倍 (20 ml)	開花当日	花に 1 回

※トマトトーンを使用する場合は、倍率を守り使用してください。

※アディオン乳剤の使用時期は収穫 7 日前のため散布時にあたっては注意する。

※ネキリムシ類の被害が心配される場合は、生育初期収穫開始 7 日前に「ガードベイト A」を 10a 当たり 3kg 株元散布する。

※樹勢が弱い場合は、農薬散布時にアミノメリット特青 500 倍またはハイプログリーン 500 倍を加用する。

※軟腐細菌病(果実の腐れ)の発生が多い場合は、「コサイド 3000」に代えて

「スターナ水和剤」(1000 倍・収穫前日・3 回以内)を散布する。

※ダニが発生した場合は、「サフオイル乳剤」(300 倍・収穫前日)を散布する。サフオイルは、うどんこ病、コナジラミ類、ハダニ類にも効果がある。

※うどんこ病が多く発生した場合は、「トップジン M 水和剤」(1,500 倍・収穫前日・3 回以内)を散布する。

※べと病が発生した場合は、「ランマンフロアブル」(1000 倍・収穫前日・4 回以内)を散布する。